



平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社リンコーコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 岡村 繁
 (コード番号 9355 東証第二部)
 問合せ先 取締役経理部長 山下 和男
 (TEL. 025 - 245 - 4112)

**平成 2 2 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 と の 差 異 及 び
 通 期 業 績 予 想 の 修 正 な ら び に 配 当 予 想 に 関 す る お 知 ら せ**

平成 2 1 年 5 月 1 1 日 に 公 表 い た し ま し た 平 成 2 2 年 3 月 期 (平 成 2 1 年 4 月 1 日 ~ 平 成 2 2 年 3 月 3 1 日) 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と、本 日 公 表 の 平 成 2 2 年 3 月 期 第 2 四 半 期 決 算 実 績 に、下 記 の と お り 差 異 が 生 じ ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。ま た、最 近 の 業 績 の 動 向 等 を 踏 ま え、第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 業 績 予 想 と 同 時 に 公 表 い た し ま し た 平 成 2 2 年 3 月 期 通 期 の 業 績 予 想 を、下 記 の と お り 修 正 い た し ま し た の で、期 末 配 当 予 想 と 併 せ て お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 と の 差 異

(1) 平成 2 2 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 連 結 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
 (平成 2 1 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 1 年 9 月 3 0 日)

(単位：百万円)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	9,750	40	△30	△80	円 銭 △2.97
今回実績 (B)	9,438	△53	△51	△98	△3.67
増減額 (B-A)	△311	△93	△21	△18	—
増減率 (%)	△3.2	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	12,169	602	568	316	11.74

(2) 平成 2 2 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 個 別 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
 (平成 2 1 年 4 月 1 日 ~ 平成 2 1 年 9 月 3 0 日)

(単位：百万円)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	5,400	110	60	30	円 銭 1.11
今回実績 (B)	5,156	15	21	10	0.39
増減額 (B-A)	△243	△94	△38	△19	—
増減率 (%)	△4.5	△86.0	△64.0	△64.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	6,858	576	562	362	13.45

(3) 差異が生じた理由

当社及び子会社の運輸作業部門は、昨年9月のリーマンショック以後、深刻化した世界同時不況の影響による国内メーカーの減産ならびに在庫調整が想定を上回る長期間に亘り、当初計画に対して貨物取扱数量が減少した結果、減収減益となりました。

また、ホテル事業部門の㈱ホテル新潟は、国内の景気悪化に伴う法人顧客の宴会減少及び個人消費の低迷により売上が減少しております。

これらの要因により、平成22年3月期第2四半期累計期間の連結及び個別の実績は、前回発表予想に対して減収減益となりました。

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成22年3月期通期の連結業績予想の修正

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	19,700	330	160	10	円 銭 0.37
今回予想 (B)	18,796	△26	△82	△156	△5.78
増減額 (B-A)	△904	△356	△242	△166	—
増減率 (%)	△4.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	22,261	675	576	△1,126	△41.77

(2) 平成22年3月期通期の個別業績予想の修正

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(単位：百万円)

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,840	400	280	150	円 銭 5.56
今回予想 (B)	10,060	77	32	15	0.56
増減額 (B-A)	△780	△323	△248	△135	—
増減率 (%)	△7.2	△80.8	△88.6	△90.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	12,484	829	778	△1,109	△41.12

(3) 修正の理由

前回発表時点では、今年度下期において国内の景気は一定の回復を見せるものと想定しておりましたが、今回の発表時点で改めて今後の国内の景気動向及び当社企業グループの事業環境を精査した結果、今年度上期に比べ若干の明るい兆しは垣間見えるものの、まだ暫くの間は厳しい事業環境が継続する見通しであります。

下期におきましても、当社及び子会社の運輸作業部門の貨物取扱数量が前期に比べ低調に推移する見通しであることから、連結及び個別の通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

3. 配当予想に関するお知らせ

(1) 配当予想について

平成22年3月期の期末配当予想につきましては、これまで未定としておりましたが、前述のような事業環境及び業績予想の修正を踏まえ、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、当期の期末配当については無配を予想いたします。

(2) 配当予想の内容

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年5月11日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 (未定)	円 銭 (未定)
今回予想	—	—	—	0.00	0.00
前期実績 (平成21年3月期)	—	—	—	3.00	3.00

※本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる場合があります。

以 上